

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 木曾川商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価			今後の展開・改善点等	備考				
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模等細企業を中心に商工会職員が事業所へ訪問し、金融相談・税務相談・労務相談等、経営全般について様々な相談指導を行うことにより経営改善を図り、企業の安定強化に努めるとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談を窓口対応も行う事で経営の向上に結び付ける。	巡回指導 実企業数 200件 延企業数 743件 窓口相談指導 実企業数 106件 延企業数 245件 創業指導 実企業数 0件 延企業数 0件 非会員巡回指導 実企業数 7件 延企業数 9件 非会員窓口相談指導 実企業数 14件 延企業数 22件 課題解決件数 46件 経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 123.5%)			指標 課題解決提案件数 (達成度 230.0%)			企業経営について様々な悩みを抱えない小規模事業者に対して、身近なパートナー機関として、巡回・窓口指導を通じて、専門家派遣、ミラサボ等各種施策の普及を、経営の安定化を図ることが出来た。		総合評価 A	事業実施評価の 自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 補足 A	目標	現状維持	小規模事業者に対し、巡回・窓口指導を職員体制で重点的にを行い、問題・課題把握をし、解決策の提案を行う。
				目標数値 800	実績数値 988	目標数値 20	実績数値 46	目標	実施方法	現行どおり										
記帳継続指導	商工会の職員が個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	指導対象実企業数 79件 指導日数 532日 指導回数 1,287回	小規模事業者	指標 指導対象実企業数 (達成度 105.3%)			指標 (達成度 %)			記帳機械化を利用する事によって、適正な帳簿の記入の仕方や経理を行う事によって、自社の経営状況が貸借対照表、損益計算書等で把握できるようになり、適正な税務申告が出来た。		総合評価 A	事業実施評価の 自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 補足 A	目標	現状維持	記帳機械化制度の普及を進め、記帳機械化の件数の増加に努める。
				目標数値 75	実績数値 79	目標数値	実績数値	目標	実施方法	現行どおり										
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	集団講習会 補助金セミナー他（尾借） 2回 9名 一宮商工会議所共催セミナー 5回 1名 消費税軽減対策セミナー 1回 14名 新春講演会（西尾張支部） 1回 19名 相続セミナー 2回 4名 個別講習会 税務 18回 174名 金融 2回 1名 経営一般 3回 5名 その他 2回 3名	小規模事業者	指標 集団（参加延人数） (達成度 78.3%)			指標 個別（参加延人数） (達成度 192.6%)			商工会講師、金融機関と連携をし、時代のニーズにあったテーマで講習会を開催し、小規模事業者の資質向上に繋がった。		総合評価 A	事業実施評価の 自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 補足 A	目標	現状維持	小規模事業者のニーズにあったテーマで講習会を開催する。
				目標数値 60	実績数値 47	目標数値 95	実績数値 183	目標	実施方法	現行どおり										
情報化推進事業	インターネットを活用し施策情報やリアルタイムな経営情報を公開する。小規模事業者等の経営力向上やビジネスチャンス拡大につながる情報を収集し、広報誌に掲載をし企業等の発展に寄与することを目的とする。	ホームページ 情報更新件数 21回 フェイスブック 情報更新件数 35回 広報発行部数 3回 1,900部	小規模事業者・一般住民	指標 ホームページ・SNS更新件数 (達成度 233.3%)			指標 広報誌発行部数 (達成度 90.5%)			商工会のホームページ、フェイスブック等の情報を更新し、小規模事業者の施策等がPR出来た。商工会活動を周知する為に、商工会報を発行し、PR出来た。		総合評価 A	事業実施評価の 自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 補足 A	目標	現状維持	ホームページ等を有効に活用し、施策、情報をリアルタイムに周知をする。
				目標数値 24	実績数値 56	目標数値 2100	実績数値 1900	目標	実施方法	現行どおり										
木曾川町一豊まつり	当地ご生誕の山内一豊公と、その妻千代様を顕彰し「家庭」「家族」「人と人の交わり」を再認識することより一宮市木曾川町の地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	第34回木曾川町一豊まつり 9月17日（日） ご来場者数 10,000人	小規模事業者・一般住民	指標 来場者数（バレードご観覧者等も含む） (達成度 100.0%)			指標 (達成度 %)			一豊まつり当日は、雨で予定が大幅に変更になったが、室内での各種イベントでは来場者に楽しんでいただけました。木曾川町内以外のお客様に本まつりをPRする事が出来、木曾川町の活性化に繋がった。		総合評価 A	事業実施評価の 自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 補足 A	目標	現状維持	地域の総合スーパーと一豊まつりを連携し、地域活性化を図る。
				目標数値 10000	実績数値 10000	目標数値	実績数値	目標	実施方法	現行どおり										
木曾川町商工まつり	実行委員会構成団体を中心的存在となり地場産業である繊維産業や地域特産品を会場内において展示・即売・披露を行う事で木曾川町の商工業を広く町内外に宣伝・紹介をし地域産業の振興と発展に貢献する事を目的とする。	第41回木曾川町商工まつり 11月12日（日） ご来場者数 5,000人	小規模事業者・一般住民	指標 事業参加延人数 (達成度 166.7%)			指標 (達成度 %)			飲食、物販、体験コーナー、イベントを実施し、地域住民との交流が出来、商工会活動のPRに繋がった。		総合評価 A	事業実施評価の 自己評価 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	調査結果 事業者への 満足度 A	調査結果 事業者への 補足 A	目標	現状維持	会員及び組合、行政と連携をし、地域活性化を図る。
				目標数値 3000	実績数値 5000	目標数値	実績数値	目標	実施方法	現行どおり										
青年部	青年部員間の交流や自己研鑽で経営改善を図るとともに、そのネットワークの拡大とキャピタリティ溢れる行動力で地域と関わり、地域に根ざした事業を通じて地域社会の発展に寄与することを目的とする。	青年部通常総会 5人 木曾川町商工まつり 1人 入善ラーメンまつり 2人 ×2日 商工会あいち物産スペシャリティ in 航空祭 2人	小規模事業者	指標 事業参加延人数 (達成度 48.0%)			指標 (達成度 %)			商工会あいち物産スペシャリティ in 航空祭に参加をし、青年部員で開発したカップスリーブのPRをする事が出来た。		総合評価 B	事業実施評価の 自己評価 C	調査結果 事業者への 満足度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	調査結果 事業者への 満足度 B	調査結果 事業者への 補足 B	目標	下げる	青年部員数の減少、行事等に参加出来ない為目標を下げる。
				目標数値 25	実績数値 12	目標数値	実績数値	目標	実施方法	現行どおり										

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 木曾川商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価							
		指標		事業回数 (達成度 181.3 %)		指標		事業参加延人数 (達成度 82.1 %)		自己評価		調査結果		満足度		補足		目標	
		目標数値		実績数値		目標数値		実績数値		A		B		A		B		現状維持	
女性部	商工業に携わる女性として経営知識と教養を深め、地域の事業を積極的に推進し、地域商工業の総合的な改善発展を図る。また地域社会の福祉の増進に寄与する。	女性部通常総会 24人 女性部通常委員会 5回 34人 習い事教室 26回 147人 部員研修交流会 テーブルマナー講座 15人 スマートフォン講習会 12人 一壺まつり 7人 商工まつり 16人	小規模事業者	32	58	240	197	習い事教室では、部員以外も参加対象にすることによって新たな出会いもでき、参加人数の増加に繋がった。また、女性部活動を通して女性部員間の交流がよりいっそう深まった。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足 必要性	現状維持	女性部員の減少により参加人数が減ってきている。新規部員加入獲得を目標とし、参加人数の増加を図り、交流を深めていく。				
か'ト'ヲ 114&1.004笑店街	当地区及び近隣に立地する大型店出店の影響や、好況とは言われてはいるが小規模商店は不況感から脱却したとは言えず一段と疲弊している現状である。この状況下小規模商店等の存続に繋がるような集客向上のための販売促進活動を行う。	平成29年度 一壺&千代笑店街 12月11日(月)～12月31日(日) 参加店 38店	小規模事業者	50	38			笑店街の参加店をまわるスタンブラリーを実施し、新規顧客の獲得、売上向上に繋がった。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足 必要性	目標 下げる	小規模事業者の廃業による参加企業の減少により、規模を縮小する。				
会員交流福利厚生 の集い	小規模企業の経営・雇用の継続的な安定を図るために、会員事業者や従業員の福利厚生事業の実施等、異業種交流の場として提供さらに企業の健全な育成に資することを目的とする。	第6回木曾川商工会地区親善ボウリング大会 7月9日(日) 参加者数 74名	小規模事業者	70	74			従業員の福利厚生の一環として参加する事によって、他の地区や他業種の会員企業の経営者等と交流を深められた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足 必要性	目標 現状維持	会員及び従業員の福利厚生の一環として、ボウリング大会・ゴルフ大会を開催し、会員同士の情報交換、親睦等が深められるようにする。				
福利厚生事業 (健康診断)	会員事業所の経営・雇用の安定化を図る為に、会員企業、従業員の健康診断事業を実施し、企業の健全な育成に資することを目的とする。	健康診断の募集を会員企業に申込を行ったが、目標の人数が集まらなかった為、事業未実施	小規模事業者	50	0			健康診断未実施の為、効果なし。	総合評価 D	自己評価 D	調査結果 D	満足度 D	補足 必要性	目標 現状維持	福利厚生の内容を健康診断の実施から、インフルエンザの助成に内容を変更し実施する				
労働保険	小規模事業所からの委託を受けて事業主・代表者に代わり、労働保険料の申告納付その他の労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行なうことにより、小規模事業主の事務処理の負担軽減と労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	委託事業所数 55企業	小規模事業者	45	55			年度更新事務や日常の諸手続等を代行することで、事業主の労働保険における事務量の軽減が出来、事業に専念してもらう手助けが出来た。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足 必要性	目標 現状維持	未加入事業場の把握に努め、企業の事務処理軽減になる為、労働保険の制度説明をし、委託事業場の増加を図っていく。				

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。